



ロータリーは機会の扉を開く

2020～21年度テーマ



中村ロータリークラブ

例会記録 (2020～2021)

会 長/白 木 久 雄

幹 事/青 木 史 仁

会報委員長/大 塚 和 助

創 立/昭和38年10月2日

例会日/水曜日 12:30～13:30

例会場/新ロイヤルホテル四万十

事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F

TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553

●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2658

第2789回 令和3年3月17日(晴れ)

本日のプログラム：新会員スピーチ 島本 正人会員

3月24日(水)：四大奉仕委員会上半期の事業報告

3月31日(水)：休会(定款第8条第1節)

【会長挨拶】白木久雄会長

・皆さんこんにちは。だいぶ暖かくなってきました。今日から新しい仲間が増えました。四国電力(株)中村営業所長、住本さんの後任の清水愛生様です。これからよろしくお願いします。

推薦者の大杉幸雄会員より紹介をお願いします。

- ・中村地区暴力追放推進協議会より
本年度の総会を書面会議とし、その資料拝受
- ・四国電力(株)より
ライフ&ライト3月号 拝受

【幹事報告】青木史仁幹事

- ・ガバナー事務所よりガバナーノミニー・デジグネート候補指名について
吉岡宏美氏(徳島RC)を指名委員会より指名のお知らせ
- ・ロータリー米山記念奨学会より
「ハイライトよねやま」252号 配信
- ・宿毛RCより例会変更のお知らせ
3月18日 ロータリーの森 野外例会
- ・幡多信用金庫より
令和3年度の文化事業中止のお知らせ
俳句、川柳、短歌の各大会をコロナウイルス感染拡大防止のため中止

【新会員入会式】 推薦者 大杉 幸雄会員

清水 愛生 1970年1月17日生れ(51歳)

住所：四万十市中村丸の内1832-196-206

勤務先：四国電力(株)中村営業所長

最終学歴：高知県立大方商業高等学校

趣味：スポーツ観戦

職業分類/電力

所属/青少年奉仕委員会・親睦委員会



皆様こんにちは。住本の後任、四国電力の清水愛生です。中村ロータリークラブの皆様には、今後ともご指導賜りますよう、よろしくお願いいたします。



《本日のプログラム》 新会員スピーチ 島本 正人会員



今日はどんなお話しをさせていただくか、いろいろ考えましたが、ちょうど四万十市の市長選が4月25日投票となっておりますので、選挙取材について紹介させていただきたいと思います。

市町村の首長選挙、これの取材は非常に長丁場で、新聞紙面に出す原稿の量も多く、私にとってはしんどい仕事の筆頭です。

候補者が複数、出馬して選挙戦になった場合、新聞に掲載する記事の種類は、各候補の出馬表明→告示まで1カ月→告示まで1週間→当該自治体の課題→あす告示→告示本記と第1声→候補者の横顔→（候補者に7つの質問）私の訴え→選挙情勢→あす投票→きょう投票→新首長に●●氏→解説と当選者インタビュー、新人が当選した場合は初登庁と続きます。候補者の数にもよりますが、ざっと20本以上です。

最も重要なのは誰が勝つか、そしてどれぐらいの票差かという予測です。「新市長に●●氏」という当選本記と、「解説」記事については、有力候補の数だけ予定原稿を準備します。誰が当選したのか、状況が判明した直後は、「バンザイ」写真の撮影や当選者のインタビューなど作業がめじろ押しで、当選本記と解説を一から執筆する時間はまずありません。

では、どう予測するかですが、かつては、「散髪屋に聞け」「タクシー運転手に聞け」という時代もありました。また「どの地域にもピタリと当てる選挙好きな人物が必ずいる。その人を探せ」なども言われていました。ですが最近は、住民の価値観が多様化し、浮動票も多くなり、散髪屋にしろピタリと当てる人物にしろ、都市伝説に近い話になってきている気がします。昨年10月の芸西

村長選では、有権者数が少ないとは言え、その差は43票でした。しかも選挙戦は24年ぶり、この結果を予測できた人物は、地元でもいなかったんじゃないかと思います。

結局、予測の手法は記者それぞれが考え出すしかありません。私はまず投票率の予測から入ります。県内では「前回より微減」という状況が続いていますが、単純に「前回から2、3%割り引けばいいだろう」とはなりません。

そういう意味で言うと、今回の四万十市長選では、10月に任期満了を迎える衆院選の影響があるのかなのか、興味を持って見えています。

投票率が低いと組織票の勝負となるし、逆に高いと浮動票が多くなり、予測は難しくなります。現在、出馬表明しているのは現職と元職で、この2人は2013年に一騎打ちで戦い、投票率は70.23%で現職が11798票、元職が8346票でその差は3452票でした。選挙結果を予測するのはなかなか難しいんですが、結局、有権者の声を聞くのが一番です。「A候補も物足りんけど、B候補もばつとしない」というパターン。でもそんな声が蓄積されて浮かび上がる「情勢の印象」が、後から考えると当たっているケースは多いです。

私にとって、過去最悪の選挙取材というのが1996年の土佐清水市長選でした。公共工事に絡む汚職事件で市長が逮捕され、それを受けた出直し市長選でしたが、開票作業中、票が108票足りないと大騒ぎになりました。選管のミスで段ボール箱の中で放置されていて、結局、翌97年にやり直し市長選が行われました。

また三原村長選では、約25年前に幡多支社に勤務していた頃、「三原村では集落の入り口で火を焚いて、対立陣営が有権者に接触しないか見張る人がいるらしい」と聞き、見物に行きました。やはり、集落の入り口には車が駐車していて、若いし4人がこっちの車を凝視していました。

時間となりました。

ご静聴ありがとうございました。

【ニコニコ箱】

大杉(幸)会員：清水さん入会おめでとうございます。ロータリーを楽しんでください。

明神会員：ひで君、医師国家試験合格おめでとう！

梅原会員：中平さんのご家庭に、少し早く桜が咲きました。

【出席報告】・会員総数54名（免除会員7名）

・本日の出席/31名 72.09%

・先週の訂正

MU1 73.81%→76.19%